

県北西部地域医療センター国保白鳥病院 公立病院経営強化プラン概要版



地域に住むすべての人がその人らしく健康で
幸せに暮らせるお手伝いをします
(For Your Healthy and Happy Life)

2024年2月



県北西部地域医療センター
国保白鳥病院



郡上市
GUJO CITY

みんなで考え、みんなで作る郡上
～ずっと郡上 もっと郡上～



郡上市マスコットキャラクター
郡上良良ちゃん

国保白鳥病院の概要

1)基本理念・基本方針(本編2ページ)

「地域に住むすべての人がその人らしく健康で幸せに暮らせるお手伝いをします」を掲げ、以下の7項目の価値観をもって施設運営を行っています

和(わ)	我々は公平公正なサービス提供の下で様々な活動に取り組めます
輪(わ)	我々はチーム活動実践の下で様々な活動に取り組めます
話(わ)	我々は患者家族住民参加を重視しながら様々な活動に取り組めます
環(わ)	我々は地域資源との連携の下で様々な活動に取り組めます
笑(わらい)	我々は患者住民職員の笑顔への貢献を考慮しながら様々な活動に取り組めます
辨(わきまえる)	我々は住民一人一人の生活・個別性を重視の下で様々な活動に取り組めます
賦(わかっ)	我々は健全経営を意識しながら様々な活動に取り組めます

2)病院概要(本編3ページ)

名称	県北西部地域医療センター 国保白鳥病院
所在地	岐阜県郡上市白鳥町為真1205番地1
開設者	郡上市長
病院長	後藤忠雄
病床数	46床(地域包括ケア病床46床)
標ぼう診療科	9科(内科、消化器内科、循環器科、総合診療科(院内標榜)、小児科、婦人科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科)

経営強化プランについて

1)経営強化プラン策定の趣旨(本編4ページ)

「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」(令和3年度総務省公表)が発出され、改めて公立病院の経営強化の必要性に関する重要な視点が見直されたことから、本ガイドラインに基づき、「県北西部地域医療センター国保白鳥病院経営強化プラン」(以下、経営強化プラン)を策定する。

2)計画策定の検討体制(本編4ページ)

経営強化プラン策定にあたっては、院内の検討委員会において外部コンサルタントから助言を受け検討を進め、適宜、市内のもう一つの公立医療機関である郡上市民病院や、郡上市財政部局とも協議を重ね検討を進めた。

3)経営強化プランの目的(本編4ページ)

当院において立案する経営強化プランの目的は、総務省が公表した公立病院経営強化ガイドラインに沿って下記の6つの視点について計画を策定することとする。

- (1)役割・機能の最適化と連携の強化
- (2)医師・看護師等の確保と働き方改革
- (3)経営形態の見直し
- (4)新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取り組み
- (5)施設・設備の最適化
- (6)経営の効率化等

4)経営強化プランの期間(本編4ページ)

この経営強化プランは、令和6年度から令和9年度までの期間を対象とする。

経営強化プランの内容

1) 役割・機能の最適化と連携強化(本編10～19ページ)

【①地域医療構想等を踏まえた病院の果たすべき役割・機能】

- ✓ 岐阜県地域医療構想及び公立病院経営強化ガイドラインの趣旨との整合を図りつつ、引き続き救急医療から在宅医療、健診・検診さらには県北西部地域のへき地医療など幅広い地域の保健・医療・福祉・介護ニーズに対応する。

【②地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能】

- ✓ 健診・検診の実施、郡上市の集団健診をはじめとする各種保健あるいは介護事業の支援を継続する。
- ✓ 総合診療を中心とした医療の提供、ポスト・アキュート、サブ・アキュート、在宅復帰支援を継続し、在宅医療の充実を図り、オンライン診療も実施する。
- ✓ 院内設置あるいは併設介護サービス事業所の運営の継続、および市内外の医療介護関連施設との連携強化を行う。
- ✓ 地域医療連携推進法人として、連携区域内の地域包括ケア構築支援を行う。

【③機能強化・連携強化】

- ✓ 圏域内の基幹病院あるいは郡上市民病院や市内民間病院との連携を強化し、高度急性期・急性期の入院医療ニーズについて対応するとともに、郡上市内における二次救急を受け入れる役割を担う。
- ✓ 高度急性期・急性期の病期を経過した入院患者の転院を積極的に受け入れ、自宅に復帰するためのリハビリテーション治療を提供する。
- ✓ 機能強化型在宅療養支援病院として、郡上市内の医療・介護施設との連携を強化し、高齢者の急性増悪等のサブ・アキュート患者の受け入れを強化する。
- ✓ 増加が見込まれる郡上市内の在宅医療ニーズに対応するために、併設する訪問看護ステーションや介護関連事業所、あるいは市内介護サービス事業所との連携のもと訪問診療・オンライン診療を提供する。
- ✓ 地域医療連携推進法人の活動を通じて診療所との人事交流を行い、へき地医療を維持継続する。

経営強化プランの内容

1) 役割・機能の最適化と連携強化(本編10～19ページ)

【④医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標】

- ✓ 医療機能を分化し、医療の質を維持・向上していくための取り組みを推進していく。(数値目標は概要版7・8ページ、本編25ページ参照)

【⑤一般会計負担の考え方】

- ✓ 地方公営企業法に基づき、相当する次の経費については毎年度適正額を繰り入れるものとする。
 - 救急医療の確保に要する経費
 - 保健衛生行政事務に要する経費
 - 経営基盤強化対策に要する経費
 - 児童手当に要する経費
 - 院内保育所の運営に要する経費
 - 病院の建設改良に要する経費
 - リハビリテーション医療に要する経費
 - 小児医療に要する経費
 - 不採算地区病院の運営に要する経費
 - 基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費

【⑥住民の理解のための取り組み】

【院内活動について】

- ✓ 当プランの周知や進捗状況について、院内各部署代表者からなる「運営委員会」や「管理者会」などを実施し、その結果をホームページや広報誌、ニーズに合わせた手法や媒体を用いた広報活動を実施する。

【意見交換】

- ✓ 地域住民に向けた地域医療懇談会などにおいて、地域の医療を維持するための当院の必要性や当院維持に向けた取り組みの発信などの啓発活動、保健・医療・介護・福祉に関する情報提供、当院運営にかかわる意見交換などを実施する。

【協働】

- ✓ その他、市民の有志団体との協働により、より幅広く郡上市民に地域医療の現状と今後、あるいは市民に期待することなどの情報発信を行う。

経営強化プランの内容

2) 医師・看護師等の確保と働き方改革(本編19～21ページ)

【①医師・看護師等の確保】

- ✓ 若手の総合診療医の臨床研修の受け入れを継続する。
- ✓ 自治医科大学義務内派遣医師の受け入れを継続する
- ✓ 幅広い年齢層にわたる人財育成の取り組みを継続する。
- ✓ 当院の運営方針の積極的情報発信を行うことによる賛同者の増加、確保を行う。
- ✓ 医療介護従事者養成機関と連携し学生教育に積極的にかかわる。

【②臨床研修医の受け入れ等を通じた若手医師の確保】

- ✓ 当院の持つ各種プログラムの運用と、他施設プログラムの協力医療機関としての運用に積極的に取り組む。
- ✓ 当院の運営方針を広く内外に発信し、その魅力を伝える。
- ✓ 大学医学部との連携をより一層図り学生教育に積極的に関わる。

【③医師の働き方改革への対応】

- ✓ 医師確保、適切な労働時間管理、タブレット端末の導入やアプリケーションを活用した業務の見直しに取り組む。
- ✓ 特定行為研修修了看護師への役割分担、メディカルスタッフの質向上によるタスクシフトが可能となるように積極的な研修会への参加の推奨に取り組む。

3) 経営形態の見直し(本編22ページ)

- ✓ 市内4病院との連携体制の強化や医療人財の確保が経営上の課題となる一方で、徐々に医療需要が減少していくなか、地域医療政策として不採算であっても対応が求められる可能性も否定できないことから、行政の関与が最も身近に対応できるよう一部適用を継続することにより、郡上市との連携を保持し協力して検討を進めていくことが適切である。ただし、当院を取り巻く医療政策や地域の医療提供体制に著しい変化が認められる状況となった場合には、改めて中濃医療圏全体を俯瞰し、最適な経営形態や連携のあり方を協議・検討していくこととする。

経営強化プランの内容

4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取り組み (本編23ページ)

- ✓ 流行初期の感染症患者以外の患者の受入れや、感染症からの回復後の入院が必要な患者の転院などの受入れを行う。
- ✓ ゾーニングや感染リスク等を改めて再点検し、感染拡大期における受入病床の準備に資するよう院内スペースの確保や感染対策の見直しを進める。
- ✓ 感染防護具等の郡上市における回転備蓄を検討する。
- ✓ 感染拡大期を見据えた、専門人財の確保や育成を図る。

5) 施設・設備の最適化(本編24ページ)

【中長期の修繕計画の立案】

- ✓ 病院建設後26年が経過しているため、老朽化調査を実施し、修繕計画を立案したうえで、中長期的な資金繰りの安定性を検証する
- ✓ 施設・設備の更新については、長期的な視点から、適正な規模、診療体制を維持管理費の抑制に資する手法と併せて検討し、投資と財源の均衡を図る。

【デジタル化対応】

- ✓ 電子カルテシステムをはじめとする医療情報システムの更新に向けて、基本構想を立案し、投資額の適正化を図り、更新に向けた準備を進める。更に近年、増加しているサイバー攻撃への対応や情報セキュリティ対策にも配慮する。
- ✓ 今後職員数の確保が困難になることが予測されるため、ICTツールを積極的に活用し、業務の効率化を検討していく。
- ✓ 交通弱者、へき地医療対策としてオンライン診療の取り組みを行う。
- ✓ マイナンバーカードの健康保険証利用(オンライン資格確認)について、公立病院として利用促進のための患者等への周知を行う。

経営強化プランの内容

6)経営の効率化（本編25～30ページ）

【①経営指標に係る目標数値】

経営指標	単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収支改善					
経常収支比率	%	98.1	98.90	100.0	100.7
修正医業収支比率	%	80.40	81.40	81.70	81.60
経費削減					
職員給与費対医業収益比率	%	85.40	85.10	85.00	85.20
材料費対医業収益比率	%	11.70	11.60	11.60	11.70
収入確保					
病床利用率	%	79.30	80.40	81.50	81.50
平均在院日数	日	18.0	18.5	19.0	20.0
入院診療単価	円	35,000	35,000	35,000	35,000
延入院患者者数	人	13,322	13,505	13,687	13,725
(1日当たり入院患者数)	人	36.5	37.0	37.5	37.5
外来診療単価	円	10,500	10,500	10,500	10,500
延外来患者者数	人	29,889	30,008	29,884	29,889
(1日当たり外来患者数)	人	123	124	124	123
訪問看護ST診療単価	円	9,500	9,500	9,500	9,500
延訪問看護ST利用者数	人	7,654	7,623	8,121	8,189
(1日当たり訪問看護ST利用者数)	人	9,500	9,500	9,500	9,500
経営の安定性					
常勤医師数	人	10	10	10	10
看護師数	人	43	43	43	43
医療機能に係る指標					
地域救急貢献率	%	10.10	10.20	10.20	10.10
CT検査実施件数	件/年	1,486	1,500	1,504	1,495
MRI検査実施件数	件/年	68	69	70	71
セラピスト1人あたり平均リハビリ件数	件/日	15.1	15.2	15.3	15.2
医療の質に係る指標					
在宅復帰率	%	90.00	90.00	90.00	90.00
入院患者満足度	点	80	82	84	86
外来患者満足度	点	80	82	84	86
訪問看護ST利用者満足度	点	84	86	88	90
連携の強化に係る指標					
紹介率	%	20.00	20.30	20.60	20.60
逆紹介率	%	21.70	21.90	21.90	21.70

経営強化プランの内容

6)経営の効率化（本編25～30ページ）

【②数値計画達成に向けた取り組み】

①の掲載した数値計画の達成に向け、下記の項目に取り組む。

重点項目① 連携の強化

- ✓ 圏域内外の基幹病院との協議を通じて、脳血管疾患・心血管疾患に関する術後の在宅復帰に向けたリハビリテーションが必要なポスト・アキュート患者の転院の積極的な受け入れ
- ✓ がん疾患の急性期経過後の患者のリハビリテーションのための転院受け入れ
- ✓ 郡上市民病院との連携を強化し、当院からの逆紹介患者数を増加するとともに、急性期経過後の回復期の患者の受け入れ強化
- ✓ 郡上市内あるいは県北西部地域医療センター管轄内の診療所・介護施設からのレスパイトケア患者の受入強化
- ✓ 郡上市内外の医療機関・介護施設からの在宅医療患者の受け入れ強化

重点項目② 医療人財の確保

- ✓ 郡上市の公立2病院および公立診療所で看護師やメディカルスタッフの採用活動を検討
- ✓ 管理事務機能の集約化検討

重点項目③ デジタル技術の活用

- ✓ 次期電子カルテの更新に備えた医療情報システム基本構想の策定
- ✓ デジタル技術の活用方法の検討、RPA等の技術導入による管理事務の軽減化
- ✓ オンライン診療の開始

重点項目④ 経費執行の適正化

- ✓ 郡上市公立2病院での協働事業を企画し、新興感染症の平時からの取り組みとしての回転備蓄の共同所有の検討
- ✓ 郡上市公立2病院での共同契約の検討を通じた委託費用の適正化

その他

- ✓ 当院の基本理念、基本方針、本プラン、診療科別・部門別目標が体系的につながっていることを意識し、各診療科、各部門の目指す姿と役割を明確にする。
- ✓ 中期目標を踏まえ、各診療科・各部門の中期目標及び年度目標を設定する。設定した目標については、発表会にて院内外へ共有する。

経営強化プランの内容

6) 経営の効率化 (本編25～30ページ)

【①収支計画】

✓ 収益的収支

区分	計画	計画	計画	計画
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1. 医業収益	932,168	941,805	948,891	952,256
2. 医業外収益	200,014	196,779	205,643	214,861
3. 訪問看護ステーション事業収益	72,718	72,419	77,271	77,912
経常収益A	1,204,900	1,211,003	1,231,804	1,245,028
1. 医業費用	1,135,176	1,133,495	1,138,191	1,143,793
2. 医業外費用	30,150	27,605	25,128	23,513
3. 訪問看護ステーション事業費用	62,291	62,841	68,541	69,091
経常費用B	1,227,617	1,223,941	1,231,861	1,236,397
経常損益 A-BC	△ 22,717	△ 12,938	△ 56	8,631
1. 特別利益D	1,000	1,000	1,000	1,000
2. 特別損失E	3,000	3,000	3,000	3,000
特別損益D-EF	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000	△ 2,000
純損益	△ 24,717	△ 14,938	△ 2,056	6,631

✓ 資本的収支

区分	計画	計画	計画	計画
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1. 企業債	40,000	32,000	40,000	20,000
2. 負担金	71,283	72,976	62,823	51,698
6. 補助金	2,700	2,700	2,700	2,700
収入計 A	113,983	107,676	105,523	74,398
1. 建設改良費	43,854	34,700	42,700	40,000
2. 償還金	112,636	115,181	99,956	41,404
3. 投資	300	300	300	300
支出計 B	156,790	150,181	142,956	81,704
差引不足額 A-B	42,807	42,505	34,733	7,306

✓ 一般会計からの負担金

区分	計画	計画	計画	計画
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収益的収支	169,317	167,624	177,777	188,902
資本的収支	71,283	72,976	62,823	51,698
計	240,600	240,600	240,600	240,600